

■大河内正敏 科学者、実業家。戦時体制下、{理化学研究所}所長を務め、理研コンツェルンを形成して、人材を輩出。

おおこうちまさとし
大久保暗殺・1878＝ 東京芝浜松町で、旧大多喜藩主大河内正質の長男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 3歳：

国民之友始・1887＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝11歳：

大津事件・・・1891＝13歳：学習院初等科を卒業。

日清戦争始・1894＝16歳：

学習院では、後の大正天皇の学友に選ばれ、

白馬会・・・1896＝18歳：

八幡製鉄始・1897＝19歳：学習院中等学科を卒業、第一高等学校に入る。

子規句歌革新1898＝20歳：旧吉田藩子爵大河内信好の妹一子と結婚、養嗣子として入籍。

ピアノ国産化・1900＝22歳：長男信威が誕生。第一高等学校を卒業し、東京帝国大学工科大学造兵学科に入学。

教科書疑獄・1902＝24歳：特待生となる。

日比谷公園・1903＝25歳：東京帝国大学工科造兵学科を首席で卒業、銀時計を下賜。同大専任講師となり、

日露戦争始・1904＝26歳：東京帝国大学工科大学助教授。

日露戦争終・1905＝27歳：_火薬学者楠瀬熊治とともに、火兵学会を創設、

満鉄発足・・・1906＝28歳：(機械工学と極めて類似する)造兵学第一講座を担当、その近代化を図り、工学に物理学を導入。

韓国反日暴動1907＝29歳：養父が死去して子爵を継ぐ。

アヲヲ創刊・1908＝30歳：海軍技師を兼任、海軍艦政本部出仕。_ドイツ、オーストリアへ私費留学、

韓国併合・・・1910＝32歳：寺田寅彦と弾道実験を行い、{火兵学会誌}に、その写真を発表。

大逆事件判決1911＝33歳：_帰国。海軍省より造兵に関する研究を委嘱され、教授に進み、砲学を講義、近代化につとめる。

明治天皇没・1912＝34歳：この年、高松豊吉帝大教授らによって、工業発達・助長方策の必要性が答申され、

大正政変・・・1913＝35歳：この年、高峰譲吉が国民科学研究所の必要性について熱弁を振ったことに加え、

第一次大戦始1914＝36歳：*弾道学の論文で東京帝大より工学博士号、第一次世界大戦勃発に、工業力が鍵となることを指摘。

21ヶ条要求・1915＝37歳：_貴族院議員になると、最大会派(研究会)幹部として活躍。

民本主義・・・1916＝38歳：以後、敗戦時まで、毎年のように、軍需動員計画に関わる分野のブレインをつとめながら、

ロシア革命・1917＝39歳：臨時産業調査局技師として、ヨーロッパへ出張。

本格政党内閣1918＝40歳：_同志と工政会を設立。大戦の影響を受けて創設された財団法人理化学研究所研究員となり、

ベルサイユ条約・1919＝41歳：東京帝国大学評議員。日本美術協会の展覧会審査委員。

大暴落・・・1920＝42歳：海軍参事官を兼任。

原敬首相暗殺1921＝43歳：*所長に就任。以後、産業と研究を融合する主任研究員制度を導入、試験工場員の増加を実現し、取得特許研究を著しく拡大し、財政基盤を豊かにするなど多大の業績を挙げて行く。

関東大震災・1923＝45歳：工政会でも活発な活動を開始し、震災に、帝都復興委員会を組織して、次々復興案を提示。{東洋瓦斯試験所}設立を手始めに、_理研コンツェルン形成への取組みも始め、

護憲三派圧勝1924＝46歳：工政会を介して、国産品奨励運動を理論的、実践的に指導し始め、

治安維持法・1925＝47歳：東京帝国大学教授を辞任。

円本時代始・1926＝48歳：講演「国産振興と基礎工業の発達」を行う。

金融恐慌・・・1927＝49歳：_研究所の所有する特許を企業化するために{理化学興業}を設立、会長となるが、

共産党事件・1928＝50歳：_長男信威が全日本無産者芸術連盟(ナップ)の書記となったことから、窮地に追い込まれ

海軍軍縮条約1930＝52歳：_信威を廃嫡するとともに、貴族院議員・学習院評議会委員を辞職するも、信威の活動は続き、

満州事変・・・1931＝53歳：

五一五事件・1932＝54歳：*プロレタリア文化連盟書記長として活動中に検挙され、華族社会に衝撃を与えたため、家督相続人から正式に排除するなど、ゴタゴタする間も、農村の不熟練労働力を活用する農村工業の必要性を主張して、

帝人疑獄事件1934＝56歳：東京物理学校校長。_農村工業会創立され会長、一工場一品主義による理研コンツェルンは飛躍的に膨張。

_特許にもとづく企業の設立を続々と行い、科学的技術研究に立脚して高能率低コストと良品廉価を目指し、有機的連関にもとづく芋づる式多角経営を展開する“科学主義工業”を提唱、雑誌や単行本を次々発行、するなど、合理主義的工業経営の理念を追求。利益の一部を還元するという手法で、研究所を再建、成長させ、150余人の博士を輩出する一方、

日中戦争始・1937＝59歳：_経営のほころびも現れて来て、

健保+総動員 1938＝60歳：発明協会より恩賜記念賞及び大賞。

日米開戦・・・1941＝63歳：_{理研工業}を創立し会長になるも、

・・・1942＝64歳：妻が死去。*産業機械統制会会長に祭り上げられて、辞任。理研コンツェルンは終焉を迎える。

創価学会検挙1943＝65歳：内閣顧問。

年金+総武装 1944＝66歳：産業機械統制会会長辞任。

敗戦・・・1945＝67歳：敗戦となり、_戦争犯罪容疑者として巣鴨拘置所入所、

新憲法公布・1946＝68歳：_出所するも、理化学研究所所長辞任に追い込まれ、

新憲法施行・1947＝69歳：_公職追放となり、

朝鮮戦争始・1950＝72歳：

独立回復・・・1951＝73歳：_解除となったが、

メデー事件・1952＝74歳：脳軟化症で_没した。

陶芸研究者としても有名で、著書多数。